

「ダックスフンドのペン立て」の製作説明書

これは「犬のメモホルダー」を基に改良を加えたものです。改良の目標は、簡単なメカで頭が揺れ動くこと、および尻尾を付け振るようにすること。

主材料はプレナー掛けや面取りのしてある30×30の角材（ホホワイトウッド／安価／柔らかい素材／白い木肌／コウナンでいつでも入手可能）を写真のごとく切断したもの。ドリル作業は3種の穴（頭・胴・ペン穴＝φ8mm 尻尾穴・足＝φ6.8mm、目玉くぼみ＝φ6mm）で、これに耳（2mm ベニヤ）、鼻（押しピン）、目（ビーズ）および「味噌」の首と尻尾には、それぞれ内径7mmと5mmのスプリングを使用した簡単な加工。

メモ帳から離れたもう一つのスタイルとして、ペン立てのみとした作品に独立させた。

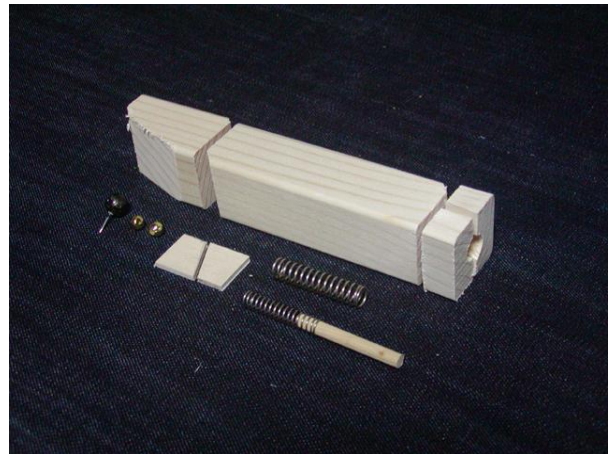
頭を軽く押さえると、揺れ動き同時に尻尾も触れる。頭は押し方によって、水平に回転する。この首根っこにはボンドで接着していない。これは運搬にも便利であり、ただ差し込んだだけのファジーな収まりで、思いがけない効果を生む。

キッドは写真にあるようにこれだけ。現場ではサンド・ペーパーによる仕上げとボンドによる部品の接着のみで仕上がる。

これだけの部品がこう組み合わせることによって、こんな表現力のあるオブジェに変身するという、もっとも大切と思われる創造意欲をかき立てる訓練には適切であろう。



仲良く散歩ーダックスフンドの子犬たち



これだけの部品で、
部品の加工も簡単に！